



医療法人 大和会 医療・介護・福祉連携だより

いなふくみ

2017 夏
vol.2



大和会で受けられる

認知症の治療と支援

認知症疾患医療センター センター長 高木 博敬

今回の「いなふくみ」では、大和会で受けられる“認知症の治療と支援”についてご紹介します。

まず、認知症の相談窓口として、当会には「西毛病院認知症疾患医療センター」がございます。ここは、地域住民の皆様が認知症について相談する際の最初の窓口として機能しており、相談内容に応じて鑑別診断、通院治療、介護・福祉サービスの紹介、その他の機関との連携等をご案内しております。

認知症の人を支えるために不可欠な“医療”に関しては、「認知症専門外来」「重度認知症患者デイケアなのはな」「認知症疾患治療病棟」等があり、認知症専門外来では月曜日と水曜日の午前中に専門医が診療をしております。「なのはな」は月～金曜日が利用可能日となっており、富岡市全域及びその周辺地域への送迎も行い、これらの地域の認知症状等にお困りの方やそのご家族を支えております。

認知症疾患治療病棟は西毛病院本館3階にある入院治療棟で、医師、看護師、作業療法士、理学療法士、栄養士、精神保健福祉士などのチームアプローチにより、症状の早期改善を目標に治療と支援に取り組んでおります。

また、認知症の支援においては医療のみではなく“介護”も必要ですが、当会としては「介護老人保健施設ミドルホーム富岡」があり、「認知症専門棟」での入所ケアとともに、在宅の方には「通所リハビリテーションサービス(デイケア)」や「訪問リハビリテーション」でのサポートを実施しています。在宅支援サービスの調整を行う「居宅介護支援事業所」も併設しており、ケアマネジャーが家族からの相談に応じます。現在、当会では「認知症のプロフェッショナルになる！」を職員の合言葉にしております。認知症治療と支援を通して地域貢献できるよう、一層の努力をしていく所存であります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

特集

認知症について

認知症かどうかのポイントは3つ

- 1 記憶力の低下で忘れっぽくなる。
- 2 認知機能障害で人・場所・時間などの見当がつかなくなる。
- 3 今までの生活を続けることが難しくなる。

認知症相談と受診の流れ

1 相談

まずは、
『認知症疾患医療センター』
へご連絡ください。
専門スタッフ
(精神保健福祉士 等) が
相談に応じます。

認知症疾患医療センター

0274-63-8120

月曜日～金曜日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:30

ご本人の気持ちを
大切に
ゆっくりと
進めています。

園芸療法
～本館3階病棟
テラス～



褒められることは
大きな安心と喜びです。
気持ちが柔らぎます。
自分らしく、やりたいように
やっています。

当会の取り組み

認知症疾患治療病棟

本館3階病棟
認知症の方が入院という形をとりながら医療的管理・看護
介護やリハビリを受けることのできる施設です。
認知症の症状、幻覚、被害妄想、徘徊興奮など介護する
のが非常に困難な患者様にも専門的な対応をします。

ソファで休むのも、世間話をするのも、温かい飲み物を飲むのも、
甘いおやつを食べるのも、すべてリハビリと考えています。
県内唯一の認知症ケアで、開設3年目になります。

なのはな作業療法士



認知症とは

認知症とは『成人になってから起こる認知機能の障害』で
このために普通の日常生活が困難になる状態です。

気づきのポイント

以前と何かが違うと思うことがあるか？
以前に出来ていたことで出来なくなったことがあるか？
その人らしくなくなったことがあるか？
・・・といった点が、早期発見の手掛かりとなります。

『認知症』と『正常老化によるもの忘れ』の違い

	認知症	老化による物忘れ
原因	病気により生じる	加齢により生じる
物忘れに対する自覚(病識)	ないことが多い	あり
記憶障害 (具体例)	体験そのものを忘れる (食事をした事を忘れる)	体験の一部を忘れる (食べたものを忘れる)
生活への障害	あり	なし
もの盗られ妄想	伴うことがある	なし

予約制

西毛病院

認知症専門外来

月・水曜日 9:00～11:30

2 問診

ご本人の様子を伺います。
必要に応じて
『認知症鑑定のための検査』
『鑑別診断』をご案内します。
(検査と診察は原則的に
予約制です。)

3 検査

- 画像診断 (CT)
※SPECTは、連携医療機関にて
行う場合があります。
- 血液検査・尿検査
- 認知機能検査 など

4 鑑別診断

認知症専門医の
精神科医師が
診察いたします。

5 治療

診断結果に応じて
・外来通院
・入院治療
・他医療機関紹介
となります。

6 地域連携

必要に応じて
介護サービスの紹介
介護保険施設利用等の紹介
他機関との連携
を行います。

重度認知症患者デイケア

なのはな

～医療保険による通所型の施設～
認知症と診断された方を対象にした医療保険による
通所型の施設です。利用者様一人ひとりと密接に
関わりながら、“身体とこころ”の両方に介入し、
認知症症状の緩和、在宅生活の継続を支援して
います。

かのはらカフェ

～認知症の方やご家族を支えるカフェ～
認知症の方やご家族を支える「認知症カフェ」です。
お茶やコーヒーを飲みながら、認知症についての
ミニ講座、質問や相談、茶話会を行っています。
認知症の方や、認知症のご家族が、「かのはらカフェ」
に来て、帰る時には笑顔で帰れますように「くつろぎの場」
「情報交換」「気軽に相談できる場」を目指しています。
■開催日 第2土曜日 ■時間 10:00～12:00

看護師として関わるよりも、しっかりと「人」として
関わっていただけたいと思います。

なのはな看護師



ミドルホーム富岡

当施設は在宅強化型老健です。家庭復帰を目指しております。

認知症専門棟

ミドルホーム富岡には一般病棟(50床)と認知症専門棟(50床)があります。

認知症専門棟では、利用者様とスタッフが認知症の方が安心して暮らせる“なじみの関係”を築くため、一人ひとりに合わせて専門スタッフが対応しています。天気の良い時には散歩に出かけ、季節の植物や野菜などを見たり、また、カラオケの時にはマイクを持ち、昔懐かしい歌を気持ちよさそうに歌ったり、楽しみの時間を送っています。

ミドルホーム富岡
居宅介護支援事業所

お問い合わせ

0274-64-3922

居宅介護支援事業所

介護が必要になっても住み慣れたご自宅・地域で暮らせるように、在宅支援サービスの連絡調整などケアマネジャー(介護支援専門員)がお手伝いさせていただきます。



お気軽にお問い合わせください。

New! 療養病棟入院基本料1『在宅復帰機能強化型加算』の施設基準が承認されました

西毛病院の本館4階病棟(内科療養病棟50床)は、平成29年5月1日より療養病棟入院基本料1における「在宅復帰機能強化加算」の施設基準が承認されました。在宅復帰率50%以上、病床回転率10%以上などの基準を満たしたもので、当病棟は医療を必要とする慢性期の患者様向けの病棟でありながら、必要に応じて在宅復帰を支援できる機能を備える病棟となります。

また、一般病棟7対1入院基本料(在宅復帰率80%)を算定する急性期病棟、及び地域包括ケア病棟(在宅復帰率70%以上)等にとっては、それらの病棟から当病棟への転院も「在宅」扱いとしてカウントが出来るため、急性期病棟/地域包括ケア病棟等からの患者様の受け入れも、よりスムーズに行えるようになります。転院のご相談は、当院の相談員までお気軽にご連絡ください。

New! 西毛病院『夏祭り』へお出かけください

8月18日(金) 西毛病院『夏祭り』が開催されます。
皆さんでお出かけください。

※恒例のバザー・模擬店・花火を予定しております。



New! 認知症多職種カンファレンスを行っております

~甘楽富岡地域の認知症の在宅ケアにかかわっている方々~
認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指し、甘楽富岡地域で認知症在宅ケアに従事している方々や地域で認知症のサポートをしている方々の話し合いの「場」です。事例検討やグループミーティングを当院の認知症専門医も含め、それぞれの職種で意見交換を行っています。顔が見える「場」なので様々な方々とも交流が深まります。市町村の包括支援センターや社会福祉協議会、居宅支援事業所のケアマネジャー、施設の認知症ケアにかかわっている方々にご参加をいただいております。

■お問い合わせ 0274-63-8120 認知症疾患医療センターまで、お気軽にお問い合わせください。



今回は『認知症』をテーマとしましたが、これからの季節、気を付けていただきたいのが、認知症高齢者の熱中症です。暑さがわからなくなって、クーラーの点け方もわからない、おまけに季節外れの服装で、服を何枚も重ね着…なんて事ないですか。皆さん、今年の夏も冷や汗(?)たっぷりかいて笑顔で乗り切ってください!! 笑顔は笑顔を呼んでくれます。



医療法人 大和会

〒370-2455 群馬県富岡市神農原559-1 TEL 0274-62-3156
URL <http://www.seimou.org/>

平成29年6月25日 発行：医療法人 大和会 編集：広報活動委員会